

2022年3月期 第1四半期

決算説明会

JKホールディングス株式会社 (9896)

代表取締役社長 青木 慶一郎



2021年9月3日



JK Holdings Co.,Ltd.

エグゼクティブサマリー

2022年3月期 第1四半期

業績

売上高	862	億円	前年同期比 5.1%増 
経常利益	20	億円	前年同期比 133.6%増 
親会社株主に帰属する 四半期純利益	12	億円	前年同期比 166.8%増 

・売上高は862億87百万円（前年同期比5.1%増）と収益認識会計基準等を考慮すれば、住宅着工戸数の伸びとほぼ同率の増収となりました。

・(株)キーテック山梨合板工場が順調に稼働率を上げていることや、量質両面にわたる仕入・販売のきめ細かいコントロールによりグループ全体の粗利益率が向上しました。

・総合建材卸売業においては、「ウッドショック」の影響から、特に合板等素材商品の調達面で十分な量の確保ができず、各社とも売上面ではやや苦戦を強いられましたが、取扱商品全般、特に合板等素材商品を主体に利益率は大きく改善しました。

通期計画

売上計画	3,440	億円	計画進捗 25.1%
経常利益計画	53	億円	計画進捗 39.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益計画	30	億円	計画進捗 42.5%

配当

2022年3月期予想 中間配当 10 円 期末配当 10 円

業界及び同業他社について

5 ページ

JKホールディングス(株)について

9 ページ

2022年3月期 第1四半期決算概要

13 ページ

中長期経営計画について

18 ページ

業界および同業他社について

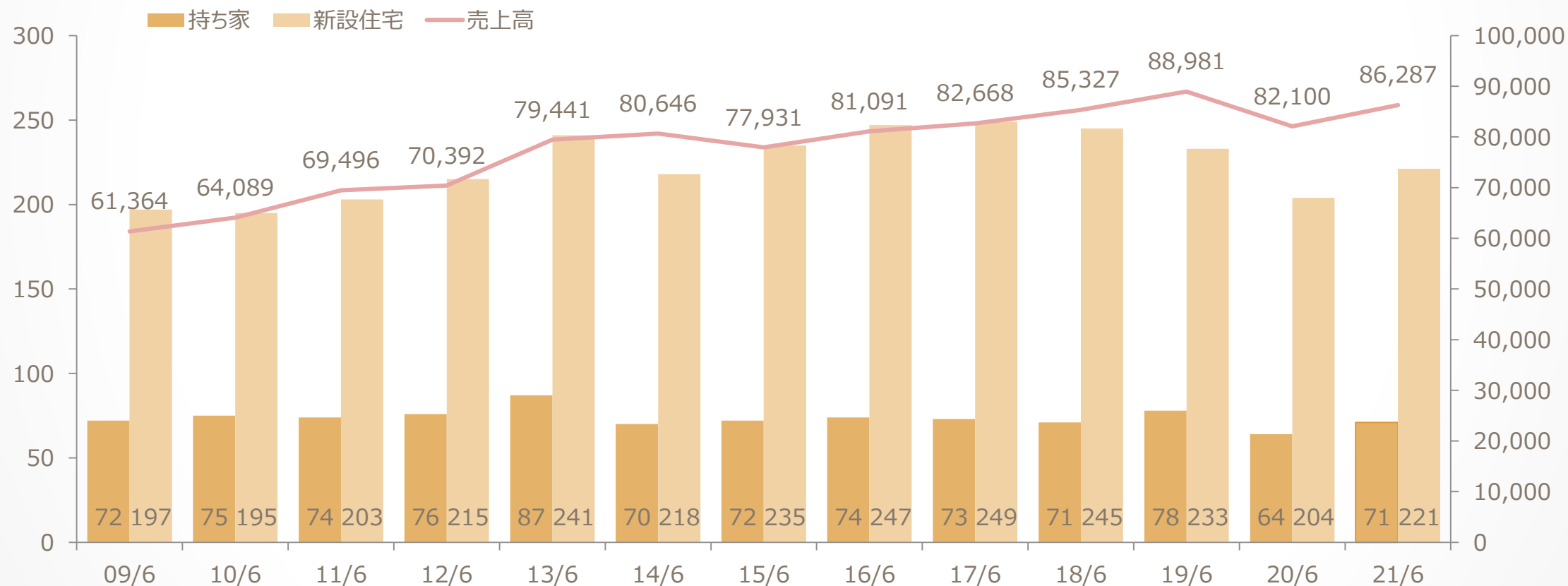
(1) 第1四半期 住宅着工戸数 推移

住宅着工

当社グループが主力とする持ち家は、新型コロナウイルス感染症の影響から営業がストップした前年同期比では10%前後の増加となっていますが、前々年同期比では5～10%程度の減少となっています。

(単位：千戸)

(単位：億円)



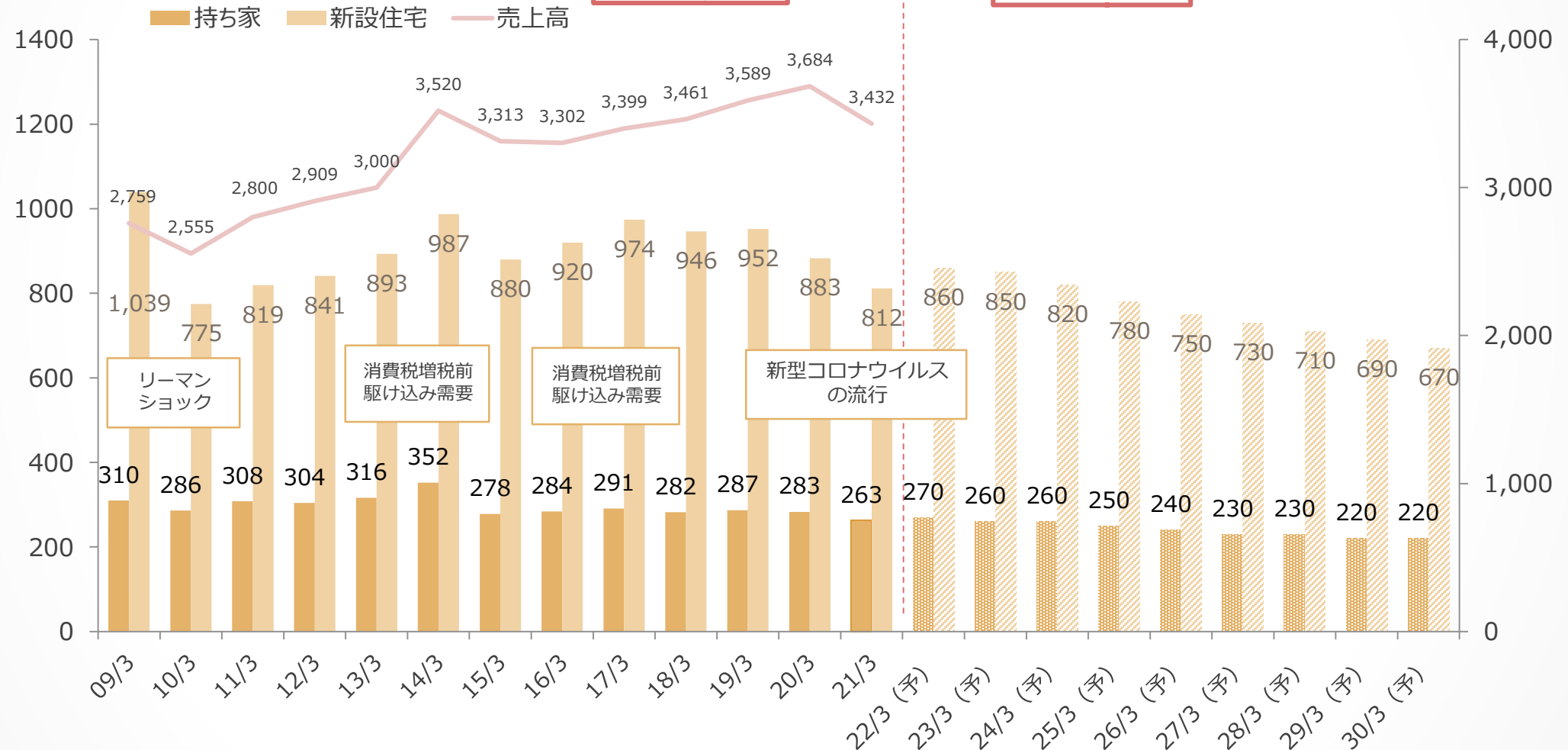
(参考) 通期住宅着工戸数 推移

(単位：千戸)

実績値 (※ 2)

予測値 (※ 1)

(単位：億円)

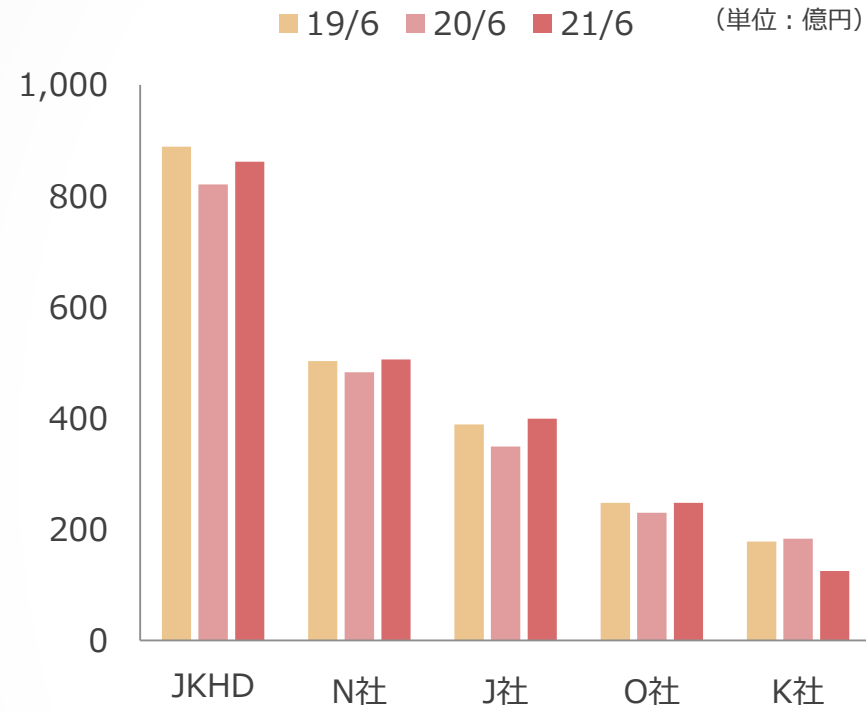


出典：※1 野村総合研究所のデータをもとにJKホールディングス(株)が作成 (2021年6月8日公表)

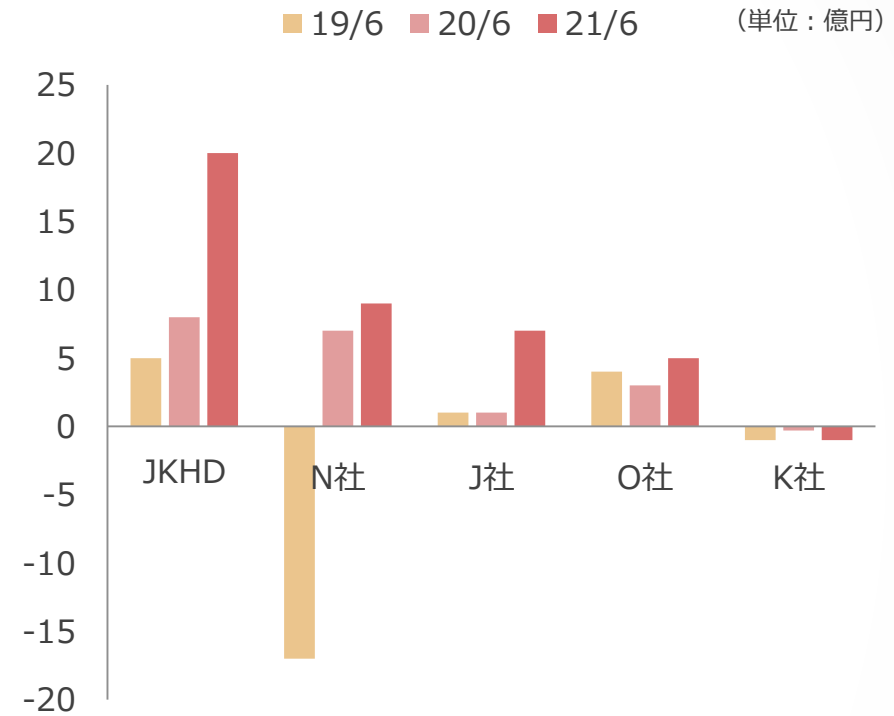
※2 国土交通省 建築着工統計調査報告

(2) 同業他社との業績比較

■ 売上高



■ 経常利益



■ 前期比較（増減率）

	JKHD	N社	J社（※）	O社	K社（※）
売上高	5.1%	4.7%	－%	7.8%	－%
経常利益	133.6%	21.6%	－%	68.2%	－%

※収益認識に関する会計基準適用により、増減率の記載がありません。

J Kホールディングス(株)について

企業理念

「快適で豊かな住環境の創造」

当社グループは、住宅建築資材の流通業を主要事業とし、「快適で豊かな住環境の創造」という企業理念の下、より良い住宅資材を、適正価格で、お客様の要望される場所にお届けすることを目標に、営業活動を展開しております。

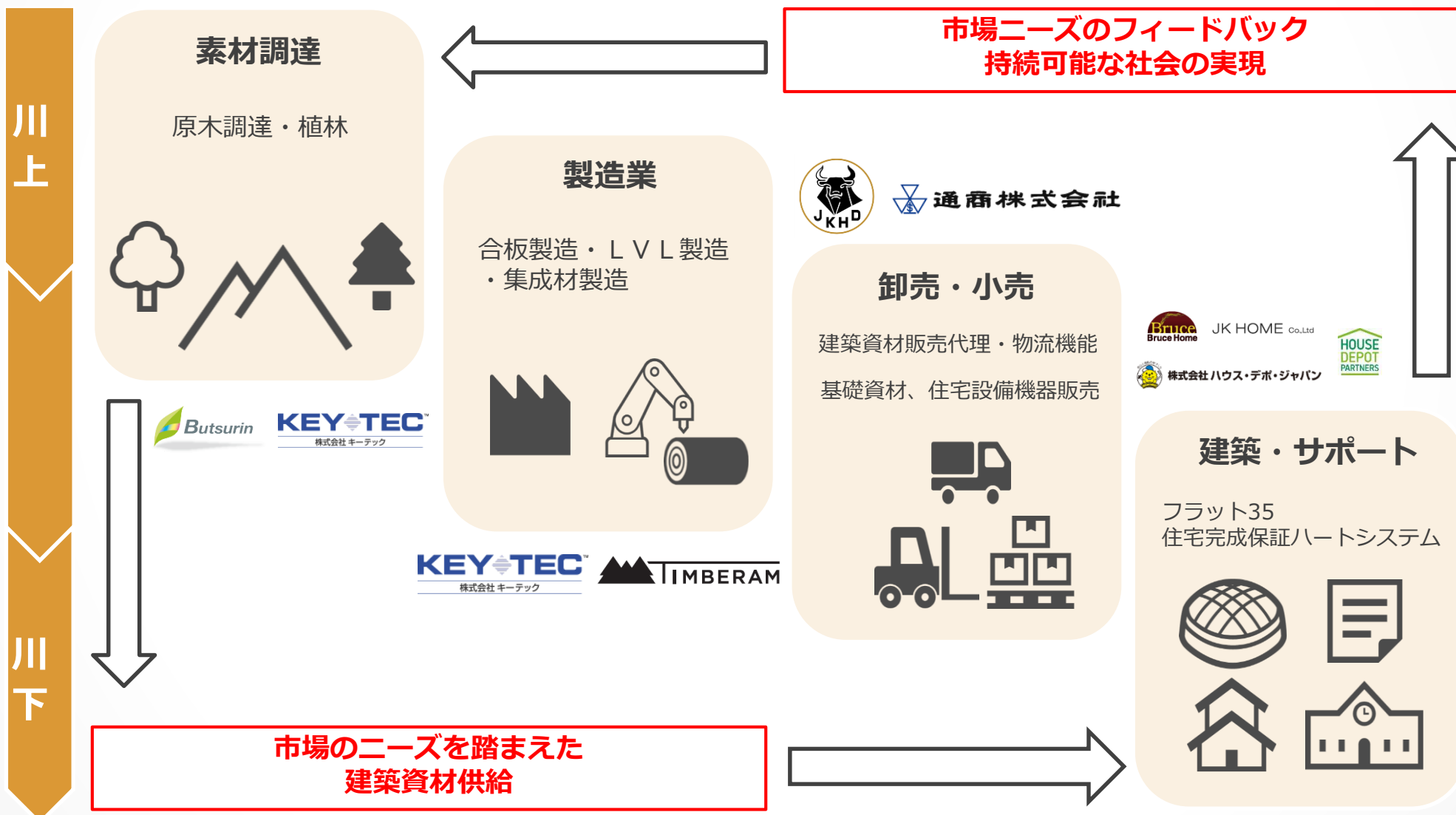
また、単にモノを販売するだけでなく、お客様に経営のノウハウを提供することで、お客様との共存共栄を図る仕組みづくりにも取り組んでおります。

基本情報（2021年6月30日現在）

商号	J Kホールディングス株式会社 (JK Holdings Co.,Ltd.)	創業	1937年10月
代表者	代表取締役社長 青木 慶一郎	所在地	東京都江東区新木場1-7-22
資本金	3,195百万円	事業の内容	① 総合建材卸売事業 14社 ② 合板製造・木材加工事業 9社 ③ 総合建材小売事業 20社 ④ その他 18社
従業員数	3,265名（連結）		



JK Holdings Co.,Ltd.

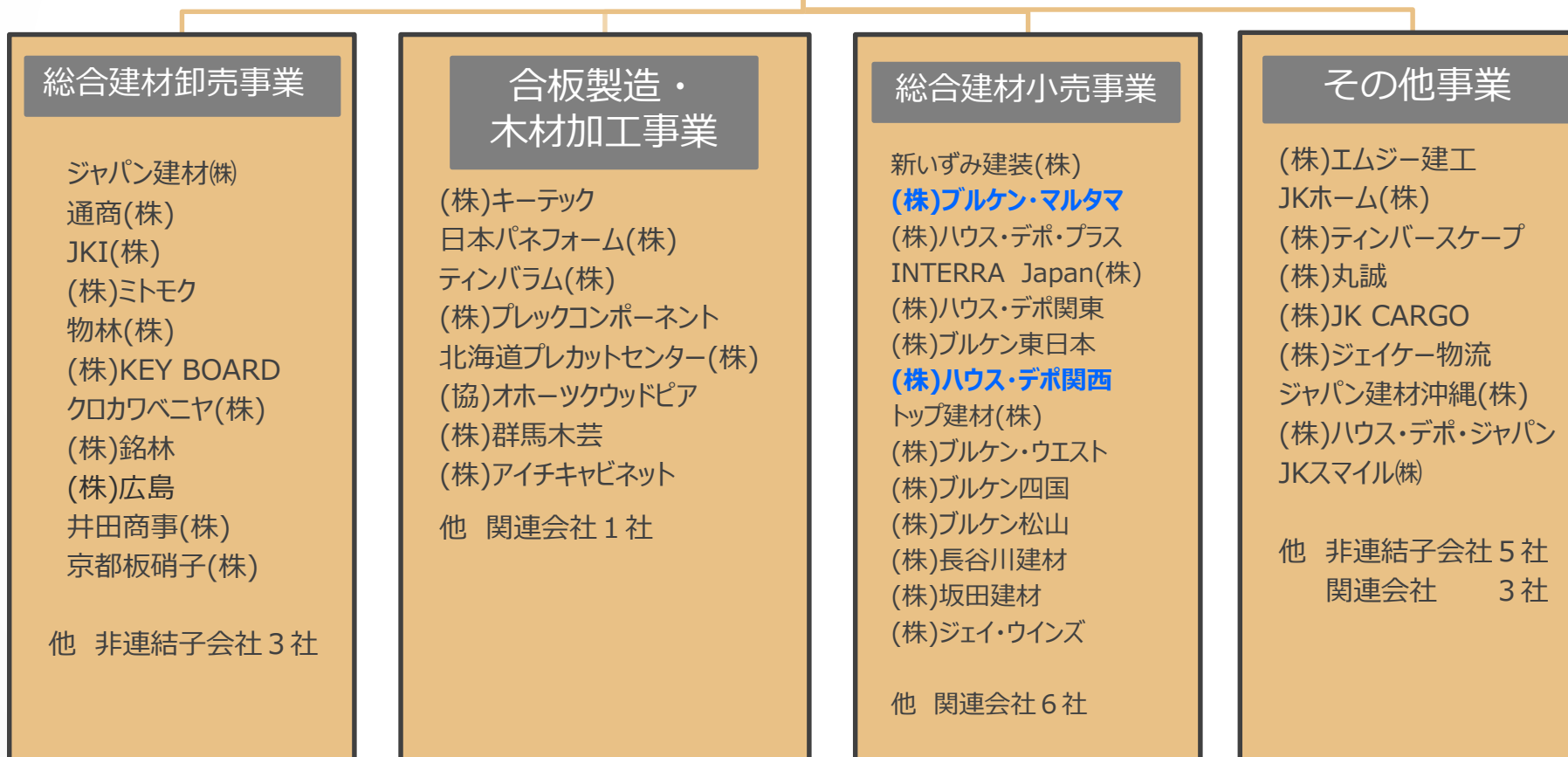


(3) グループ企業一覧

住宅建材の「専門商社」であるジャパン建材(株)を中核会社に、住宅関連企業をグループ傘下に展開する
純粋持株会社です。



(2021年6月30日現在)



※青文字は2022年3月期に組織再編をおこなった会社です。

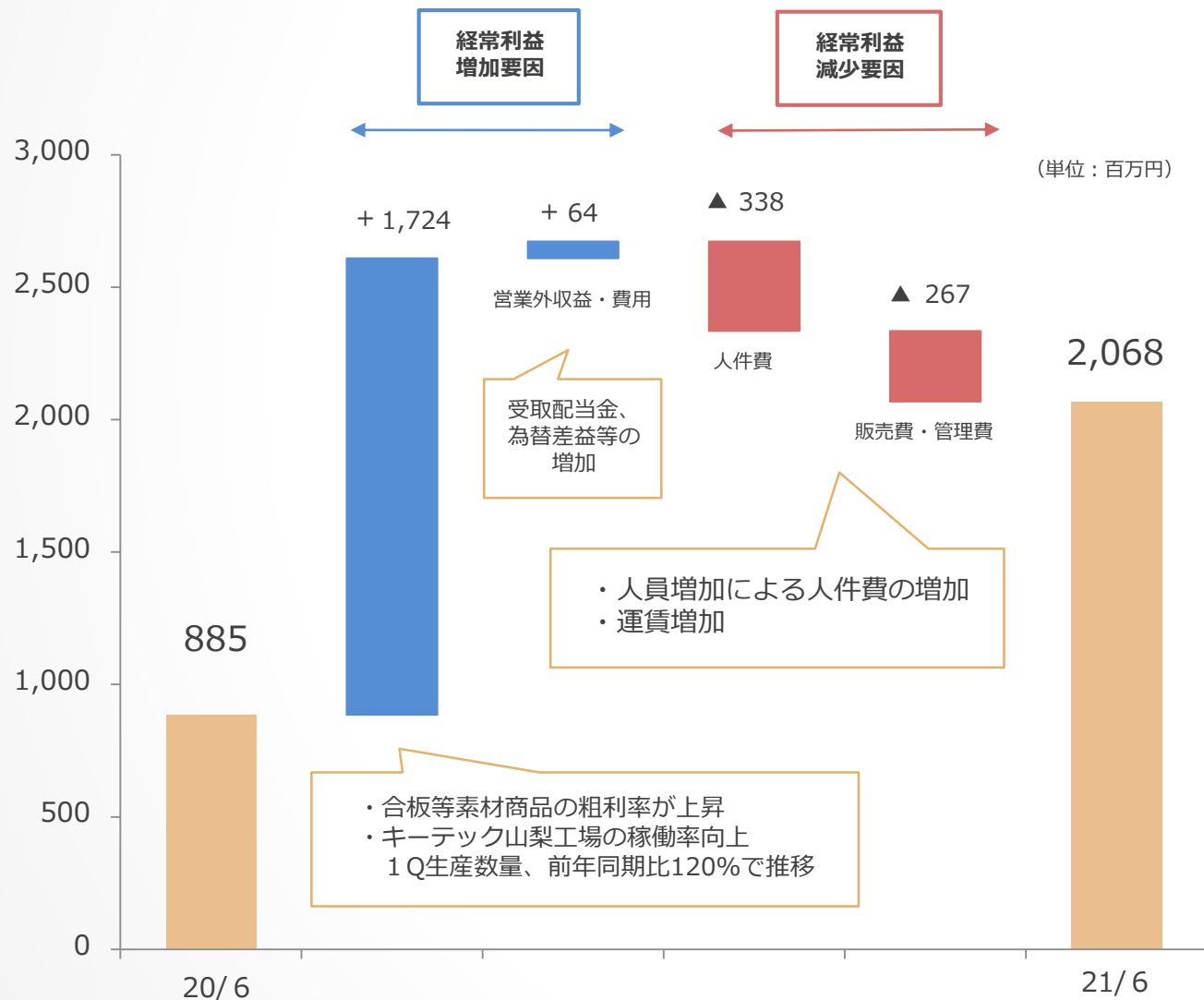
2022年3月期 第1四半期 決算概要

(1) 連結業績

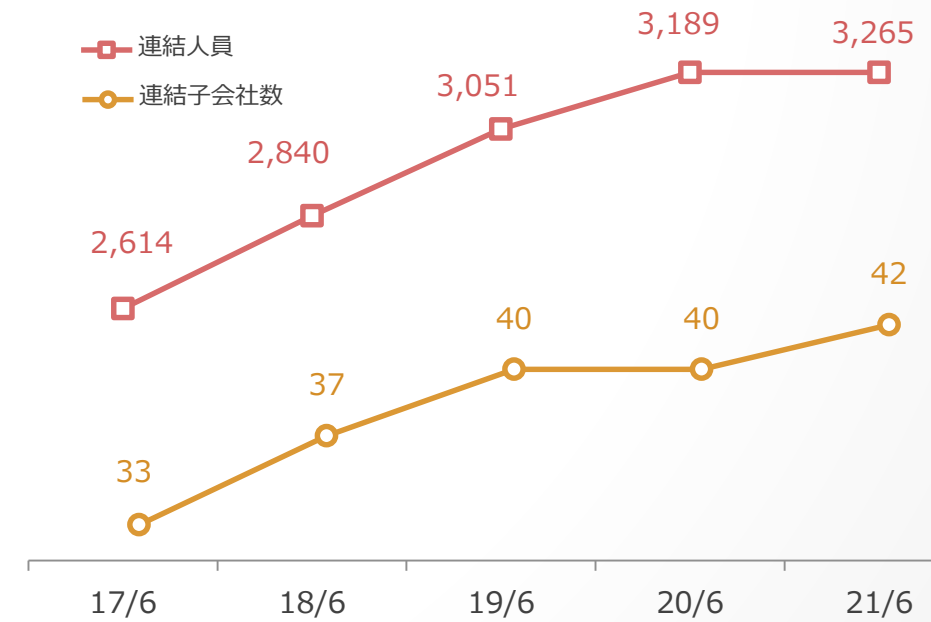
	2022年3月期 通期計画	2021年6月期	2020年6月期	前年比 (%)
(百万円)				
売上高	344,000	86,287	82,100	5.1%
売上総利益	—	10,319	8,594	20.1%
(粗利率%)	—	12.0%	10.5%	
販管費	—	8,295	7,690	7.9%
営業利益	5,500	2,023	904	123.7%
経常利益	5,300	2,068	885	133.6%
親会社に帰属する 四半期(当期)純利益	3,000	1,273	477	166.8%

(2) 利益増減分析

連結経常利益増減



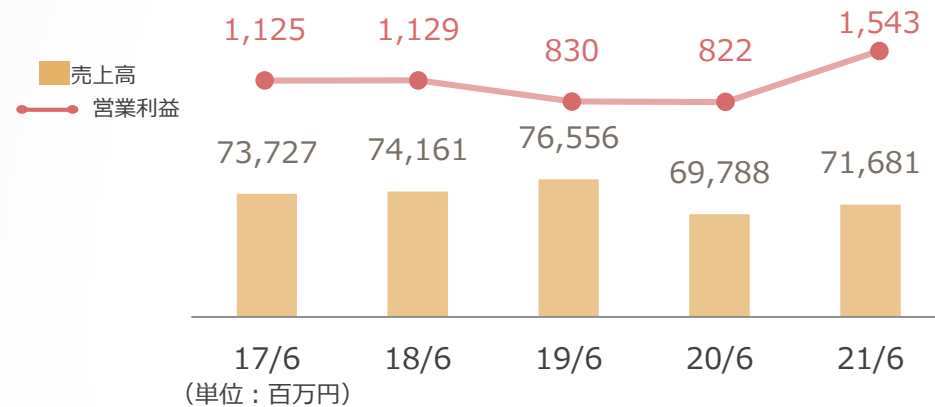
	主要販管費増減内訳		
	20/6	21/6	増減比率
人件費	4,539	4,877	7.5%
販売費	1,621	1,781	9.8%
管理費	1,528	1,636	7.1%
合計	7,690	8,295	7.9%



(3) 事業別の売上高・営業利益推移

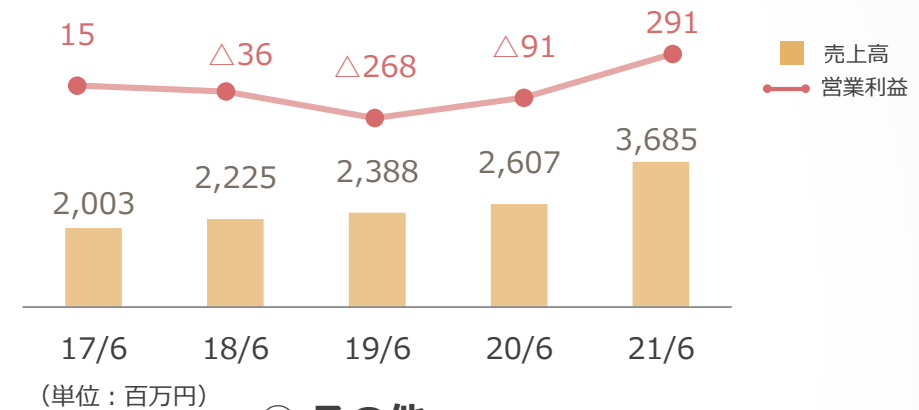
① 総合建材卸売事業

「ウッドショック」の影響から、特に合板等素材商品の調達面で十分な量の確保ができず、各社とも売上面ではやや苦戦を強いられましたが、取扱商品全般、特に合板等素材商品を主体に利益率は大きく改善しました。



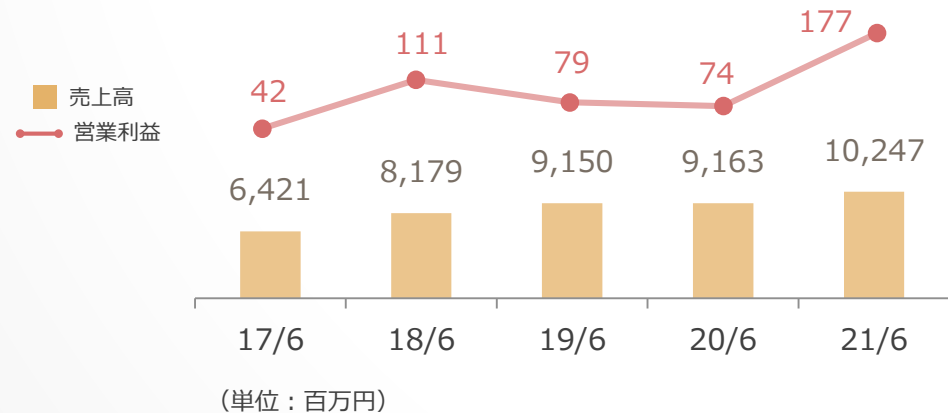
② 合板製造・木材加工事業

当事業の中核を占める(株)キーテックは、主力のキーラム（LVL）事業が代替材としての需要拡大を受けて増収増益となったほか、一昨年稼働を開始した山梨合板工場の稼働率向上から増収増益となりました。

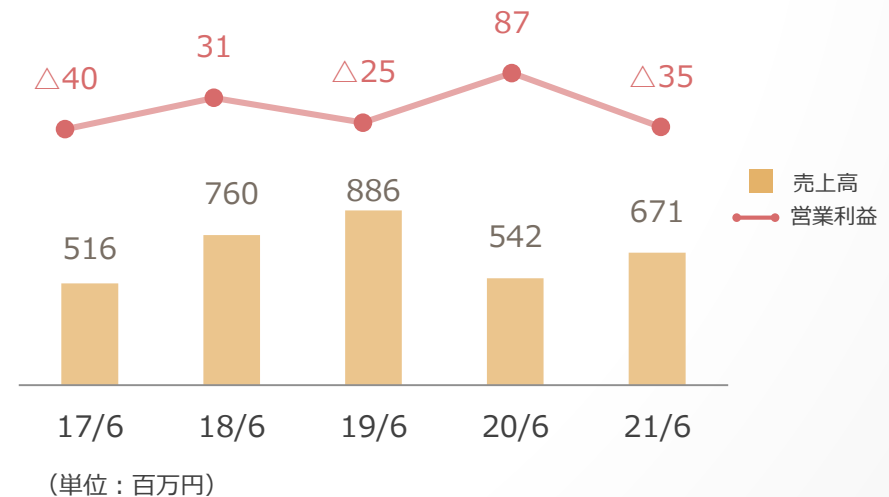


③ 総合建材小売事業

(株)ティエフウッドを(株)ブルケン・マルタマに、四辻製材(株)を(株)ハウス・デポ関西に各々吸収合併しグループ内再編を進めました。業績は各社により若干のばらつきがありますが、総じて増収増益の傾向にあります。



④ その他



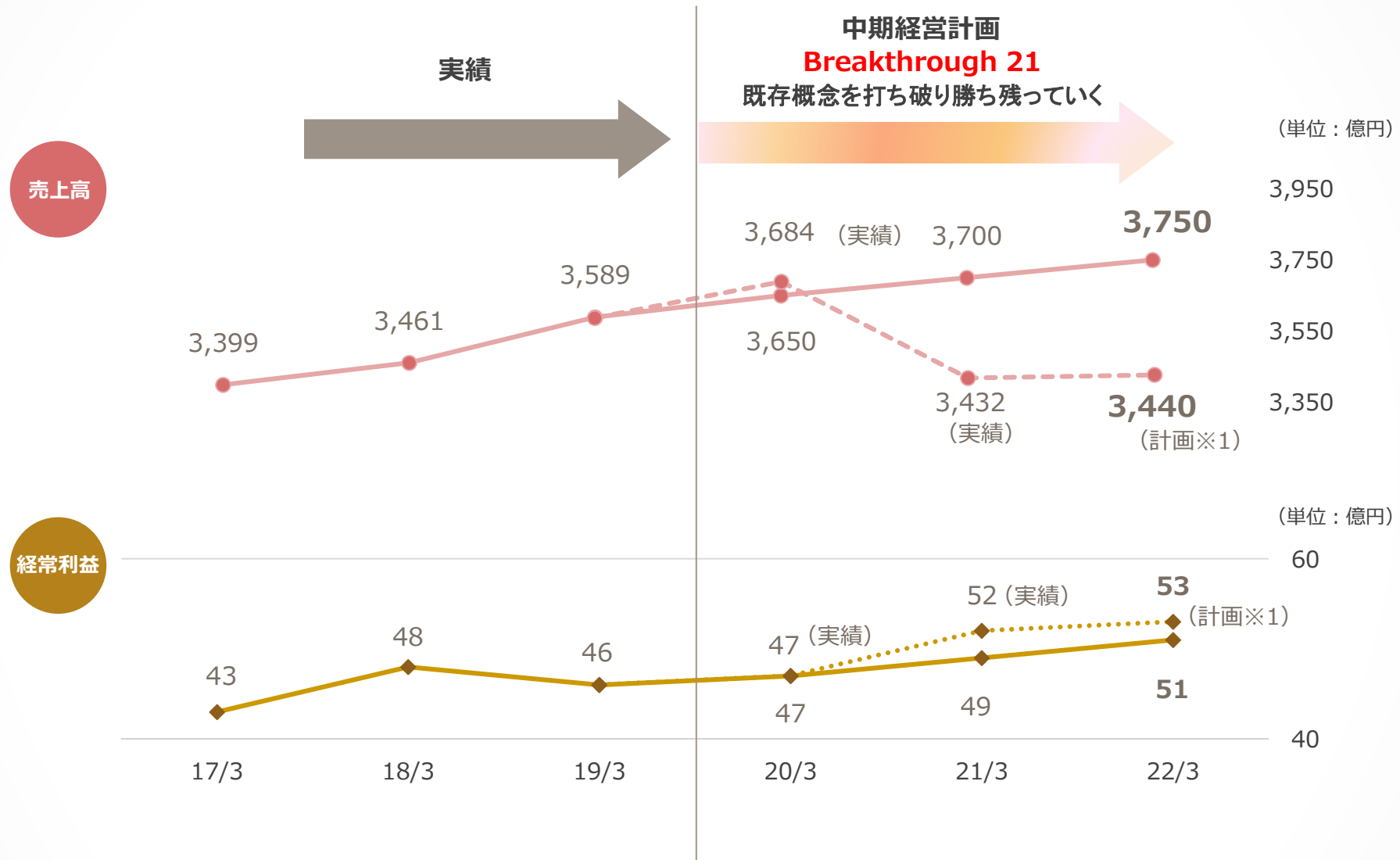
(4) バランスシートの状況

(百万円)	2021年3月期	2021年6月期	増減
資産	206,288	208,011	1,722
現金及び預金	36,481	37,141	660
売上債権及び契約資産	76,983 (※)	84,795	7,812
棚卸資産	19,709	13,813	▲ 5,896
固定資産	71,585	70,965	▲ 619
負債	161,112	161,948	835
仕入債務	96,905	97,945	1,039
有利子負債	45,375	44,882	▲ 493
自己資本	43,732	44,580	848
その他有価証券評価差額金	1,594	1,396	▲ 198
(自己資本比率%)	21.2 %	21.4 %	

※前期の数値は、収益認識基準を適用前の為、売上債権の金額のみとなっております。

中長期経営計画について

(1) 中期目標 – 売上高と経常利益の見通し



※ 上記に記載されている計画は当初の中期経営計画の数値です。

※1 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2018年3月30日)等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準を適用した後の金額となっております。

「Breakthrough 21」

既存概念を打ち破り勝ち残っていく

企業プレゼンスの向上

- ・ 国産材有効活用への貢献
- ・ 木材・合板博物館等への協賛
- ・ I R、P Rの強化

新たな価値の創造

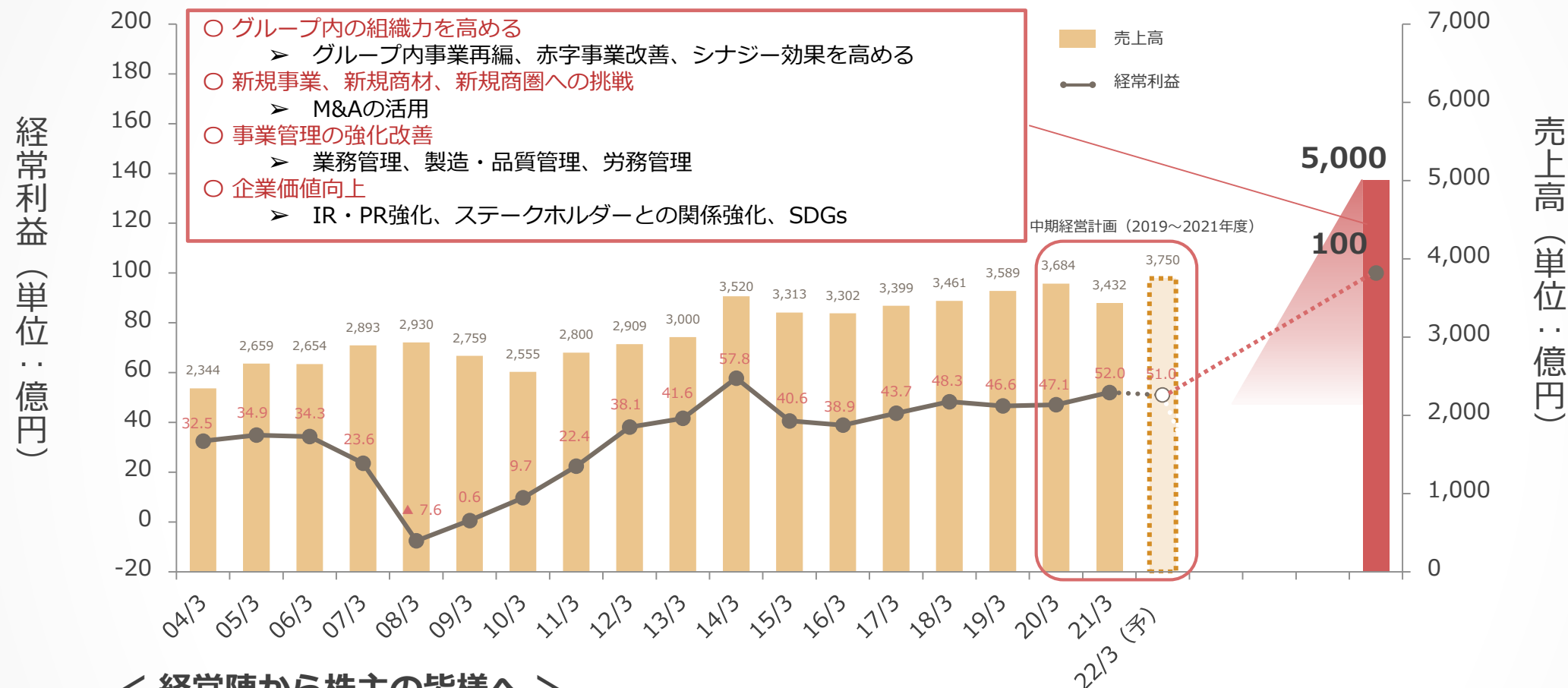
- ・ (株)キーテックが山梨合板工場を新設
- ・ INTERRA Japan(株)を核にE Cビジネスを拡充
- ・ パークP F I・公民連携への取り組み
- ・ 材工一式販売、P B商品、
J K木造建築グループ等付加価値部門の拡大

強くしなやかな組織造り

- ・ ジャパン建材(株)の機構改革
- ・ 海外事業
- ・ 建材小売子会社の再編
- ・ システムインフラの整備
- ・ 木質素材製造子会社の再編
- ・ 業界再編への取り組み
- ・ 働き方改革の実践と人材育成

(3) 長期経営目標

連結売上高5,000億円、連結経常利益100億円を目指す体制づくりへ



< 経営陣から株主の皆様へ >

業界の変化に対応しつつ、企業価値の向上を目指します。
 創造性と挑戦心を持って、事業領域の拡大、深耕を進めていき、
 グループ企業の連携を深め、業界ダントツNO.1グループへと成長していきます。



JK Holdings Co.,Ltd.